

北里大学と大村智先生

雪国・魚沼圏で史上初となる4年制大学部。北里大学の9つ目の新学部「健康科学部」が今春、開設されました。心から喜びたいと思います。北里大学といえば、ノーベル生理学・医学賞受賞者で特別榮譽教授、大村智先生の存在はあまりに有名で、アフリカや中南米の人々を悩ませてきた熱帯病のオンコセルカ症（河川盲目症）を中南米で根絶させた治療薬イベルメクチンの開発者。もう生まれて来る子どもたちに失明の恐れはないという、黄熱病に挑んだ野口英世の再来のような方です。一方、先生は女子美術大学の名誉理事長でもあり、「出身の山梨県韮崎市にある「**韮崎大村美術館**」の館長も。4千点を超える所蔵品から女性作家61人の作品97点をお借りし、学部開設と市制施行20周年を祝して市主催の特別展を、池田記念美術館で開催中です。

4月14日(日)には先生をお招きし、記念講演会を。ご一緒する榮に浴しました。御年89歳とは思えない壮健さと明晰な語り、気さくでざっくばらん、しかし眼光は実に深い。高校まで打ち込んだクロスカントリイは県内1位、県代表として全国大会にも。その頃は将来「研究者になる」とは全く思わなかったよ、自ら「異色の研究者」と楽しそうに語られました。生家は農家で長男。進学など考えもしなかったが、盲腸手術後の病床で本をむさぼり読む息子の姿に、ご尊父が「大学に進んでもいい」と言ってくれたことが転機だった。豊かとはいえない実家、弟の学資を定時制高校の教師として働きながら支えたが、定時制教師は昼間は別の勉強ができたことが良かった。そう、「1日を2倍使った」とも。講演のテーマは「芸術研究の道とは違う芸術、しかしその中に女性作家を通じた人生訓や探求心などさまざまにちりばめられてすばらしかった。終了後、聴講の女子高校生に囲まれてうれしそうに答えられていた先生の言葉が耳に。「つらい時どう乗り越えていかれたのですか」先生は「明日は絶対によくならないという信念。スキーと同じ、死ぬほど苦しくてもすばらしいゴールがあるよね」、そして「人との出会いを大切にすること」整然と並べられた展示場の絵画たちが話し出すように思えました。特別展は5月17日(金)まで。ぜひ。

健康ひろば

【問合せ】保健課 ☎773・6811

熱中症を防ごう

急に暑くなる初夏は、体が慣れていないため、熱中症に注意が必要です。

運動などをしていなくても、体からは1日約2.5リットルの水分が失われます。

室内でも熱中症になることがあり、高齢者や乳幼児、病気にかかっている人は注意が必要です。体調不良のときも注意しましょう。

予防のポイント

- ・エアコンや扇風機、すだれなどを上手に使う
- ・こまめに水分をとる
- ・屋外では気温に注意し、体を締め付けない涼しい服装で、帽子や日傘を利用する
- ・作業中や外出時は適度に休憩を取り無理をしない
- ・日ごろからバランスの取れた食事を1日3回とる。特に朝食は抜かない
- ・早めの就寝を心がけ寝不足にならないようにする
- ・暑い時期になる前に適度に運動し、体力をつける

救急医療

夜間に困ったときは

電話相談 時 19:00～翌朝8:00 (毎日)

- ・新潟県救急医療電話相談 対 15歳以上 ☎025・284・7119 (#7119でも可)
- ・新潟県小児救急医療電話相談 対 15歳未満 ☎025・288・2525 (#8000でも可)

LINE「AI救急相談アプリ」

LINEアプリで友だち追加し、チャット形式で救急医療の相談や緊急度の判定ができます。

休日・夜間救急 連絡先

- ・南魚沼市民病院 ☎788・1222
- ・魚沼基幹病院 ☎777・3200
- ・齋藤記念病院 (脳神経外科救急) ☎773・5111



※詳しくは、市ウェブサイトをご覧ください

